

街路事業

おやまとちぎ 小山栃木都市計画道路 3・5・101 号 小山結城線外 1 路線
おやまゆうき

(一般県道 小山結城線)
おやまゆうき

おやましほんごうちょう
小山市本郷町〔平成 22 年 3 月供用〕

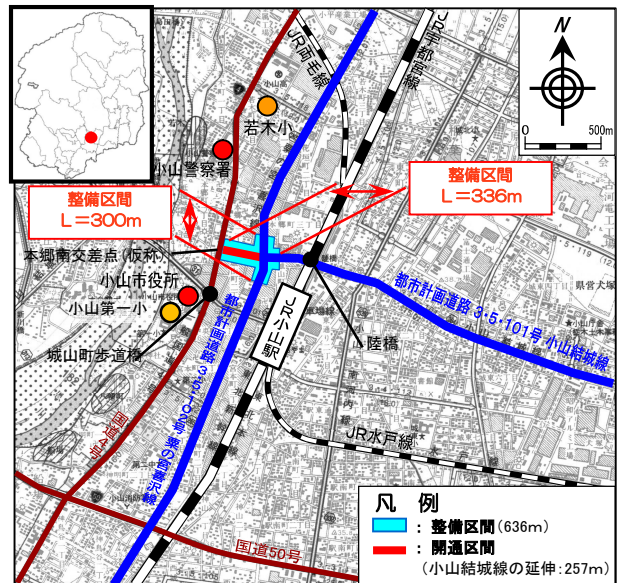
1 事業概要

小山栃木都市計画道路 3・5・101 号小山結城線は、小山市の中心市街地から小山市東部の工業団地を經由し、茨城県結城市までを結ぶ都市の骨格を形成する幹線道路です。

本事業は、小山栃木都市計画道路 3・5・102 号粟の宮喜沢線との交差点から一般国道 4 号まで道路を延伸するとともに歩道の拡幅、無電柱化を行うものです。

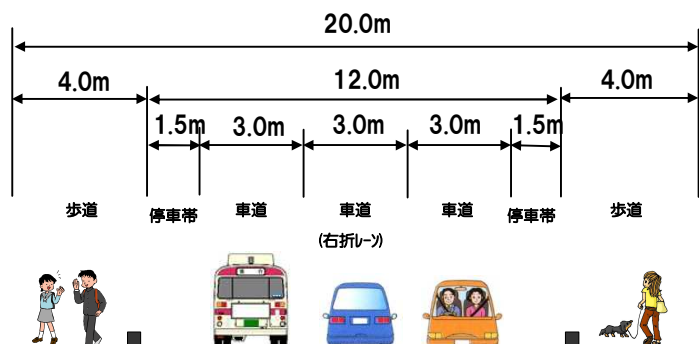
- ◆事業名：緊急地方道路整備事業（街路事業）
- ◆事業箇所：3・5・101 号小山結城線 外 1 路線
小山市本郷町
- ◆事業主体：栃木県
- ◆全体延長：小山結城線 L=336.0m
粟の宮喜沢線 L=300.0m
- ◆幅員：小山結城線 W= 20.0m
(車道 W=3.0m、歩道 W=4.0m 両側)
粟の宮喜沢線 W= 19.0m
(車道 W=3.0m、歩道 W=3.5m 両側)
- ◆総事業費：約 36 億円
- ◆事業期間：平成 11 年度～平成 21 年度

【位置図】

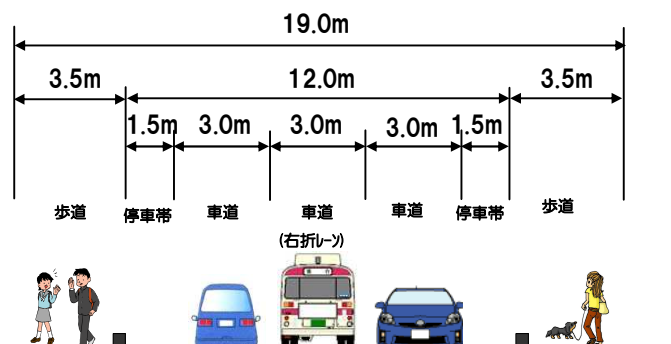


【横断図】

都市計画道路 3・5・101 号小山結城線



都市計画道路 3・5・102 号粟の宮喜沢線



2 事業の目的・必要性

小山結城線と粟の宮喜沢線との丁字路交差点は、南北からの交通が集中し、朝夕を中心に交通渋滞が起り、さらに歩道が無いことにより自転車歩行者が危険な状況であったため、自動車交通の分散や安全な歩行空間の確保が望まれておりました。

このため県では、「円滑な交通の確保」、「自転車・歩行者の安全で安心な通行の確保」、「良好な市街地の形成」を目的に、平成 11 年度から整備に着手し、平成 22 年 3 月に完成供用しました。

3 事業の整備効果等

<費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化>

- ・事業費 着手前 約 36 億円 → 完成時 約 36 億円
- ・事業期間 着手前 平成 11 年度～平成 17 年度 → 完成時 平成 11 年度～平成 21 年度
(事業期間延伸の理由) 事業地の一部において埋蔵文化財が確認されたため、その確認調査に要する期間を延伸した。

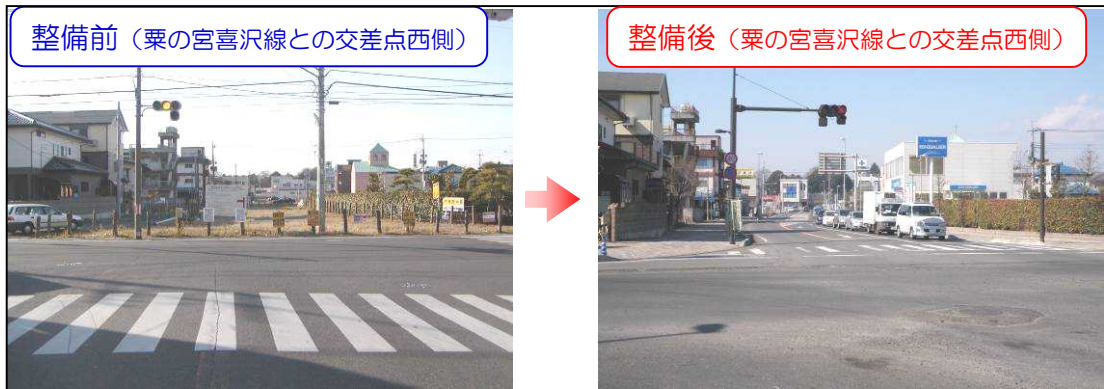
<円滑な交通の確保>

国道 4 号までの延伸、右折レーンの設置等により、一般国道 4 号に交通が分散した結果、粟の宮喜沢線の交通量が減少し、交差点通過時の円滑な交通が確保されました。

■粟の宮喜沢線の 12 時間交通量

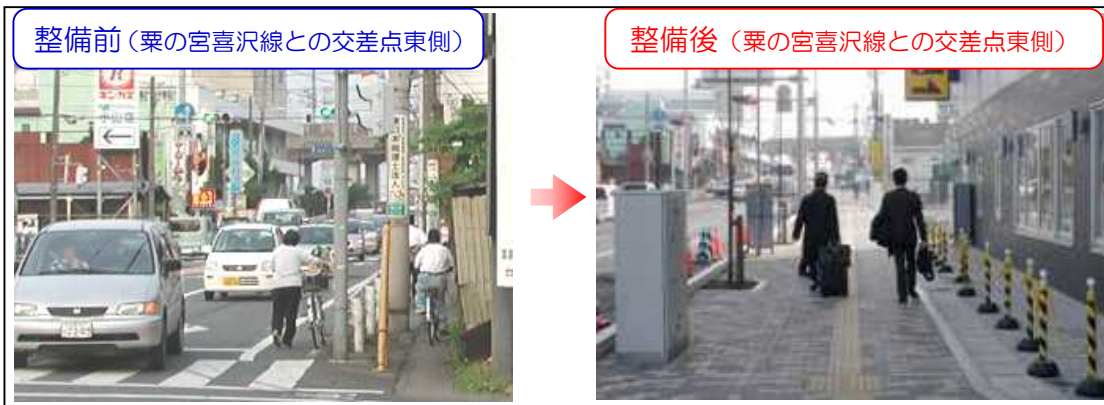
(開通前) 15,666 台/12h ⇒ (開通後) 10,797 台/12h (31.1%減少)

■城山町歩道橋から陸橋東間 (約 1.1km) で約 2.8 分短縮



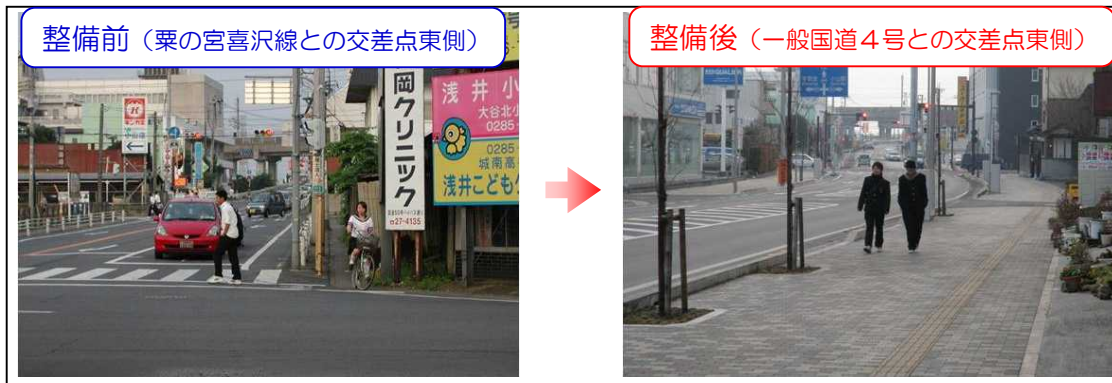
<自転車・歩行者の安全で安心な通行の確保>

歩道が拡幅したことにより、安全性と快適性が確保され、通行者が増加しました。



<良好な市街地の形成>

歩道の無電柱化及び美装化により、良好な市街地が形成されました。



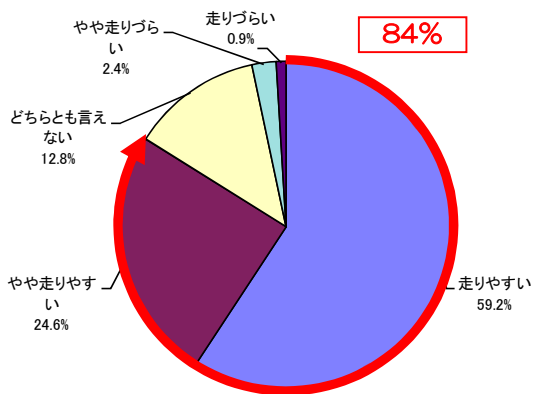
4 地元の声

本事業の整備により、生活や環境などに、どのような変化があったかを確認するために、アンケート調査を実施しました。

(回答数/配布数：215 件/680 件 回答率 32%)

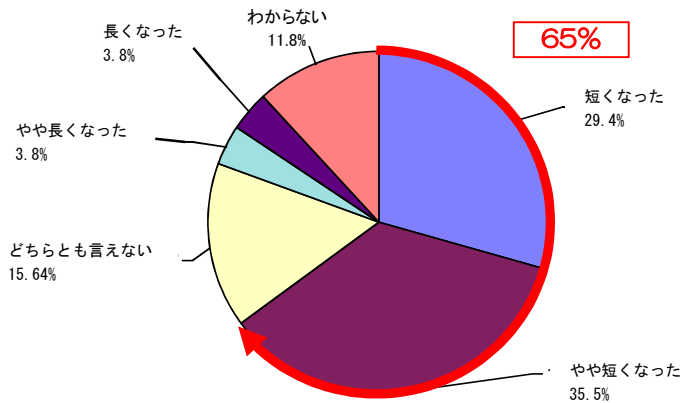
<円滑な交通の確保>

(1) 整備後の走行性について



自動車・オートバイ等による道路利用者の約8割の方が、走りやすいと感じています。

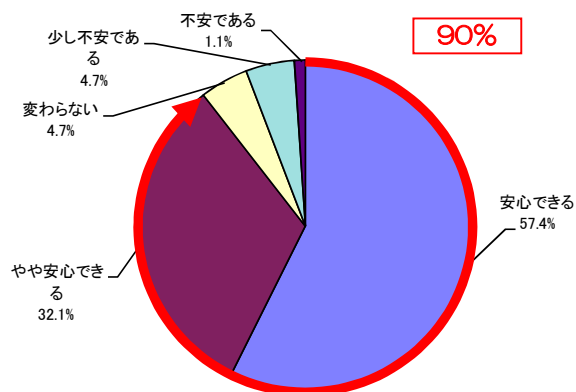
(2) 整備後の通過時間（渋滞状況）について



自動車・オートバイ等による道路利用者の約7割の方が、通過時間が短くなったと感じています。

<自転車・歩行者の安全で安心な通行の確保>

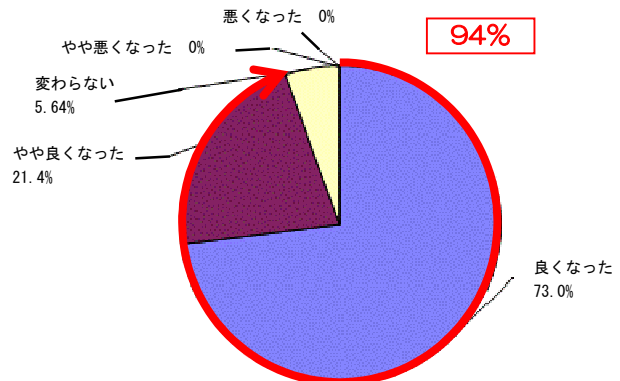
(3) 整備後の歩道交通について



自転車・歩行者による道路利用者の約9割の方が、安全性が向上したと感じています。

<良好な市街地の形成>

(4) 整備後の景観について



約9割の方が、道路景観や街並みが良くなったと感じています。

(5) 自由意見：開通による効果について（意見の多かった内容）

- ・歩道が広くきれいになり、とても歩きやすくなった。
- ・段差がなくなって、自転車が走りやすい。
- ・国道4号へのアクセスが良好となり、時間的に余裕ができた。
- ・安全かつきれいになった。
- ・JR東西への移動時間が大変短縮された。
- ・道路利用者が増加した。
- ・電線がなくなったことで、景観が良くなった。

(6) 自由意見：その他（意見の多かった内容）

- ・歩道が広くなり、スピードを出す自転車等が多いように感じられる。
- ・工事が遅く、夜間工事がうるさい。
- ・本郷南交差点部のコンビニエンスストア駐車場でショートカットする車があり危険である。

5 事業による環境変化

歩道内の無電柱化整備により良好な道路景観や街並みを創出しました。

6 事業を巡る社会経済情勢の変化

特になし

7 今後の事業評価の必要性及び改善措置の必要性

小山結城線の延伸により、南北からの自動車交通量が分散し、円滑な交通が確保されました。

また、歩道の拡幅、無電柱化により、自転車・歩行者が安心して通行できるようになったとともに、景観の向上にも寄与しました。

このため、今後の事後評価及び改善措置の必要性はないと考えています。

8 同種事業への反映

本事業については、小山結城線及び栗の宮喜沢線ともに交通量が多いため、交通管理者との協議により、車道規制を伴う夜間工事を実施したため、アンケートに夜間施工時の騒音について意見がありました。

今後、同種事業の夜間工事では、関係機関との協議調整を綿密に行うとともに、地元住民に十分な事前説明をした上で、施工するよう努めていきます。

栃木県 県土整備部 都市整備課 街路担当

T E L : 028-623-2475 F A X : 028-623-2477
H P : <http://www.pref.tochigi.lg.jp/h09/index.html>
E - mail : tseibi@pref.tochigi.lg.jp

